

令和7年度和庄中学校区研究推進計画

校番（14）呉市立本通小学校
校長名 曾根 智恵

- 1 学校教育目標
夢を持ち 自ら学ぶ ～「挑戦」そして「感謝」～
- 2 目指す児童生徒像
自ら考え判断し、主体的に粘り強く行動することができる児童生徒
- 3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資 質 ・ 能 力	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・粘り強さ
後期	・知識及び技能を確実に習得し、新たな知識や技能を既得の知識や技能、他の学習や生活と関連付けながら、より深く理解することができる。	・問題発見・解決につなげるために、習得した知識や技能や調べた情報等を比較・分類・関連付けしたり、論理的に表現したりしている。 ・課題解決のために、異なった考え・立場等を理解し対話を通して考えを深めている。	・自ら課題を進んで見だし、その解決に向けて、見通しをもって粘り強く取り組もうとしている。 ・協働的・探究的に課題解決に取り組もうとしている。
中期	・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、新しい知識や技能を既得の知識や技能、他の学習や生活と関連付けながら深く理解することができる。	・問題発見・解決につなげるために、習得した基礎的・基本的な知識や技能や調べた情報等を比べたり分けたりつなげたりして理由をつけて説明している。 ・課題解決のために、異なった考え・立場等を理解し、対話を通して考えを深めている。	・自ら課題を進んで見だし、その解決に向けて、見通しをもち、粘り強く取り組もうとしている。 ・友達の考えを大切にして、協力して課題を解決しようとしている。
前期	・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、新しい知識や技能を既得の知識や技能、他の学習や生活と関連付けながら理解することができる。	・習得した基礎的・基本的な知識や技能や調べたこと等をもとに理由をつけて書いたり話したりしている。 ・友達の考え等を理解し、話し合いをして考えを深めている。	・自ら課題を進んで見だし、その解決に向けて、粘り強く取り組もうとしている。 ・友達の考えを大切にして、協力して学習しようとしている。

4 研究主題等

(1) 研究主題

主体的・協働的に学び、思考を働かせ表現する児童生徒の育成

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区は、呉市の中心部に位置し、繁華街を含む商業地域と古くからの住宅街が混在しており、家庭の教育に対する考え方等も含め児童生徒を取り巻く状況は多様化している。そのような中ではあるが、保護者や地域の学校への関心は高く、PTAや地域の交通安全推進活動等、教育活動に対する理解や支援がある。

本中学校区では、基本的な知識・技能の習得が不十分な児童生徒もあり、学んだことを発展させ、さらに次の課題を見付けて主体的に学びを深めようとするところにも課題が見られる。また、学力調査等の結果・分析から、目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように文章にまとめたり説明したりすることに対して課題があることが分かった。授業の展開部分の学び合いの場では、教師主導で説明される、または一部の児童生徒の意見により授業が進み、その考えがグループの意見となってしまう、深めることができない状況が見受けられる。

それらの課題を改善するため、本中学校区では、研究主題を“主体的・協働的に学び、思考を働かせ表現する児童生徒の育成”の具現化を図ることとした。（育成を目指す資質・能力：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・粘り強さ」）

そして、その達成に向けて次の取組を行う。

各教科並びに総合的な学習の時間において、教科等の本質に迫る「考える授業」づくりに取

り組んでいく。

授業では、引き続き、小中が共通して「和庄中学校区授業モデル」を活用した授業実践を積み重ねていくことで、主体的に学習に向かう学習集団の育成とともに、9年間を通して教職員の共通理解のもと、学力向上を目指す。また実践を通して「和庄中学校区授業モデル」の改善を図るようにする。

具体的には、授業の導入部分で、前時までの学習を基に授業への見通しをもたせ、児童生徒の問いを生かした具体的で必然性のある「考えたくなる課題設定」を行う。

また、授業の展開部分では、児童生徒一人一人が、自分の考えを持ち、自他の考え等を尊重して協働的に学びを深めることができるようにしたい。そのために、小集団も活用し、共通の目的をもって考えや立場等の異なる中でも対話する活動を仕組む等、課題の解決に向かって取り組むとともに、発問の工夫、思考ツールやICTの活用等、思考を存分に働かせ、考えを練り合い、深い学びをするための手立ての充実を図る。

終末では、視点を与えた「今日のなるほど・明日のために」で、深い学びを自覚させ、次時の課題につながるようにしていく。

また、昨年度と同様にカリキュラムマップに9年間を見通した防災教育を位置付け、自分事として捉え、家庭を巻き込む取組の充実を図る。各校において「本質的な問い」を設定し、生涯にわたって災害に備え、自他の安全を実現する精神を育てていく。

また、学びの土台でもある「和庄中学校区スピリット」の育成に向けた取組を充実させる。

以上のことを通して、目指す児童生徒像「自ら考え判断し、主体的に粘り強く行動することができる児童生徒」の育成を目指していく。

(3) 研究仮説

「和庄中学校区授業モデル」の改善を図りながら教科等の本質に迫る「考える授業」づくり、「和庄中学校区スピリット」の取組を充実させれば、児童生徒が主体的に学び、思考を働かせ表現する力が育まれるであろう。

【和庄中学校区スピリット】
礼儀正しく 節度を守る 児童生徒
どんなことにも 粘り強くやりぬく 児童生徒
人を大事にし 学校や地域に貢献する 児童生徒

5 研究内容

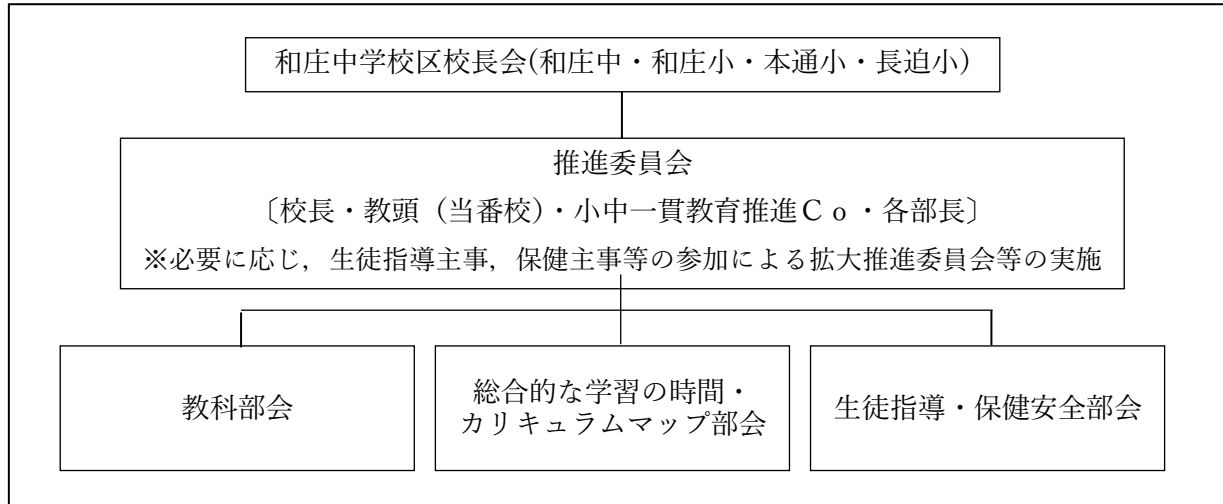
- ・ 和庄中学校区における小中一貫教育の在り方
- ・ 研究テーマ、めざす児童生徒育成のための授業づくり・生徒指導体制等の充実
- ・ 研究の成果と課題分析、発信、広報活動

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 児童生徒が思考を働かせ表現する授業を創造することができたか。	教師アンケート	教職員の肯定的評価	—	3.0以上 (4段階評価)
② 資質・能力を育成することができたか。	児童生徒アンケート	児童の肯定的評価	—	3.0以上 (4段階評価)
③ 児童生徒の学力が向上したか。	全国学力・学習状況調査(国語、算数・数学、英語)	全国平均との差	国語 (中) +0.9 (小) +0.7 算数、数学 (中) -6.5 (小) +0.8	全国平均との差 中学校 +1 小学校 +6
		指導方法等改善計画「検証問題」	国語 (中) 84% (小) 80% 算数、数学 (中) 70% (小) 87%	目標値を上回る

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等(中→小, 小→中)

(中→小)

- ・外国語科5年生(週に1時間実施) 6年生(週に2時間実施)
- ・音楽科6年生(各校3学期に1回実施)
- ・特別活動6年生(各校3学期に1回実施)

(小→中)

- ・中学校3年生自己表現指導 3学期に1回に実施

イ 小学校教科担任制等

- ・和庄小(書写, 社会, 算数, 理科・音楽・図画工作・家庭科・体育・外国語・外国語活動)
- ・本通小(音楽・図画工作・家庭科・書写)
- ・長迫小(理科・音楽・家庭科・書写)

8 推進計画

月 日	内容			
	和庄中	和庄小	本通小	長迫小
4月10日	第1回和庄中学校区小中一貫教育推進委員会【本通小】(今年度の方向性の確認)			
5月21日	第1回和庄中学校区小中一貫教育研修会(総会・部会)【本通小】 講師 呉市教育委員会指導主事			
6月16日	第2回和庄中学校区小中一貫教育研修会(授業研究会)【本通小】 講師 広島文教大学教育学部 教授 今崎 浩 先生			
9月29日	第2回和庄中学校区小中一貫教育推進委員会【本通小】			
10月20日	和庄中学校区陸上記録会合同練習会【和庄中】			
10月21日	第3回和庄中学校区小中一貫教育研修会(授業研究会)【本通小】 講師 広島文教大学教育学部 教授 今崎 浩 先生			
10月 日	和庄中学校地域公開授業【和庄中】			
1月21日	第3回和庄中学校区小中一貫教育推進委員会【本通小】			
2月6日	中学校3年生 自己表現指導			
2月26日	第4回和庄中学校区小中一貫教育推進委員会【本通小】(今年度の成果と課題, 次年度に向けて)			

9 その他

(1) 小中合同行事について

- ・ 母校でのあいさつボランティア活動（6月，11月の年2回）
- ・ 呉市小学校陸上記録会合同練習会【和庄中】（10月20日）
- ・ 新入生説明会・オープンスクール【和庄中】〈学校案内，授業・部活動見学〉（2月13日）
- ・ 和庄中学校新入生小中連携会【和庄中】（3月中下旬）
- ・ メディアコントロール（年間2回）

(2) 小中一貫だよりについて

- ・ 和庄中学校区通信（年間3号の発行）
- ・ 各校の防災教育の取組を通信にて紹介する。